



神田明神祭礼絵巻：踊り屋台／神田神社所蔵

江戸東京の文化遺産フェスティバル

江戸の祭礼と芸能

2015年 12.12(土) - 13(日)

東京大学法文2号館1番大教室

入場無料 ※事前申込による聴講券が必要です。申込方法は裏面をご覧ください。

第1日 12.12(土)「神田祭の舞踊」14:00開演(16:30終演予定)

文政6年(1823)の神田祭で上演された長唄「姿の花秋の七種」の192年ぶりの復活を試みるほか、講演やパネルディスカッションを通して神田祭と江戸の祭礼文化の魅力に迫る。

■講演 「神田祭の練り物、曳き物、造り物」

[講師] 木下直之/東京大学文学部教授

■神田祭礼 地走りの復活上演～長唄「姿の花秋の七種」

[監修] 木下直之、古井戸秀夫 [構成・演出] 鈴木英一 [振付] 五耀會 西川箕乃助

[作曲] 杵屋巳太郎 [作詞] 鳳声喜三雄

[舞踊] 花柳楽彩、藤間蘭翔、花柳喜衛文華、花柳侑希紫瑞、西川征七海、藤間之宏、花柳楽人

[解説] 古井戸秀夫、鈴木親彦

■パネルディスカッション

[パネリスト/予定] 鈴木英一、杵屋巳太郎、鳳声喜三雄、西川箕乃助、金井勇一郎、岸川雅範、木下直之 [進行] 古井戸秀夫

第2日 12.13(日)「江戸長唄～いまに生きる歌舞伎の音楽」14:00開演(15:30終演予定)

歌舞伎では、江戸のお祭りの賑わいをどのように表現しているのか。歌舞伎における長唄の役割について、人間国宝・杵屋浄貢氏が実演を交えて再現する。

■実演とお話 「人間国宝～杵屋浄貢の世界」

[ゲスト] 杵屋浄貢/歌舞伎長唄・三味線 人間国宝 [聞き手] 織田紘二/国立劇場顧問

主催：水都江戸文化遺産塾実行委員会 後援：文化資源学会 協力：東京大学大学院人文社会系研究科文化資源学専攻

江戸東京の文化遺産フェスティバル

東京湾と隅田川の海運の発達とともに拓かれた江戸。ここで育まれた江戸文化は、
これまで長い歴史のなかで社会のなかに閉じ込められていた民衆のエネルギーが沸騰し、
民衆自らが文化の担い手となって独自の美意識を創造し、世界に類例のない独自の文化を築きあげた「奇跡の時代」でした。

「江戸東京の文化遺産フェスティバル」は、東京に継承される歴史的文化資源の価値を広く内外に発信するため、

東京大学文学部文化資源学研究室の協力により東京大学を会場に開催。

第2回となる今回は、文政6年(1823)の神田祭で上演された附祭の舞踊の192年ぶりの復活を試みるほか、
粋な江戸の技とところをいまに伝える一流の古典芸能を、一線の識者による講話とともに2日間にわたりお贈りします。

◎聴講券の申込方法 (各日とも定員200名/抽選)

往復はがき

①聴講希望日②氏名③住所④電話番号⑤枚数(1回の申込みで2名様まで)を明記の上、
往復はがきにて下記までお申込み下さい。

※12/12(土)、12/13(日)両日とも聴講を希望される場合は、お手数ですがそれぞれの日ごとに往復はがきにてお申込み下さい。
(1通のはがきで2日間の申込みをされた場合、どちらか1日のみを抽選の対象とさせていただきます。)

○往復はがきの送付先 (11月30日消印有効)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-24 京二ビル3階

SAP内「江戸の祭礼と芸能」係

※聴講券ははがきにてお送りします。返信面には必ず宛先を記載して下さい。

【注意事項とご案内】

※申込みの締切は平成27年11月30日(月)の消印有効とさせていただきます。

※抽選の結果は当落にかかわらず平成27年12月8日(火)までを目処に往復はがきの返信面で記載いただいた宛先までお送り致します。

※申込時にいただいた個人情報は、本公演のご案内のみに使用致します。

【お問合せ】

「江戸の祭礼と芸能」事務局(SAP内)

☎ 03-5226-8537 (平日10:00~18:00)

◎ アクセス

地下鉄丸の内線/本郷三丁目駅下車 徒歩8分

地下鉄大江戸線/本郷三丁目駅下車 徒歩6分

地下鉄千代田線/湯島、または根津駅下車 徒歩8分

地下鉄南北線/東大前駅下車 徒歩1分

地下鉄三田線/春日駅下車 徒歩10分

東京大学(本郷キャンパス)
法文2号館1番大教室

※公演の内容、アクセスの方法等について大学へのお問合せはご遠慮下さい。
お問合せは上記問合せ先までお願い致します。

